



坂井えつ子の

つながる小金井通信 vol.12

発行日：2016年4月22日

発行：小金井市議会「緑・市民自治こがねい」
小金井市本町 6-6-3



賛成2・反対21
で予算を否決

13年ぶりの暫定予算

5月末に臨時会が招集され、再度、予算が提案される予定ですが、西岡市長には、可決・成立に向け議会としっかりと「対話」していただきたいと思います。

その後、31日の臨時会では4、5月の暫定予算を全会一致で可決。暫定予算とは、年度開始までに予算が成立しない場合、成立までの空白期間をつなぐために組む予算のこと。人件費や社会保障制度に関わる扶助費など、必要最低限の「義務的経費」しか組めず、新規事業や駅前再開発などの「政策的経費」は含まれません。

6日間の予定が8日かかった予算審議で会期延長になり、3月28日の本会議で2016年度一般会計予算を否決。新福祉社会館建設検討委員会のあり方や、職員給与増額の条例に対し態度が分かれたことと、議員提出の予算修正案が否決されたことにより、圧倒的に議会との「対話」不足でした。坂井は、厳しい財政での給与アップにはやむなく反対のため、このアップ分を除き新福祉社会館建設検討委員会などの経費を組んだ修正案に賛成。駅前開発や、マイナンバー、関連費用が含まれることには反対ですが、修正案が可決されれば予算原案にも賛成するつもりでした。

施政方針に対する会派質問 @日曜議会 (2月28日)

「緑・市民自治こがねい」で片山かおるさんと15分ずつ、坂井は3点質問しました。

「対話」が足りない!

申入れのあった市民団体や町会・自治会とは対話しているものの、これまでにひろく市民に開かれた場はなかったことを確認。2016年度からは、より地域と密に対話できる場を設けるとの答弁でした。市長の基本姿勢でもある「対話」なので、今後の動きに期待しています。

もっと!女性政策

ひとつも触れられていなかった女性政策。市長は「小金井市は男女平等政策について先進的と考える」との認識でしたが、女性相談窓口の日時が限られているなど、まだまだ課題はあると考えます。

障がい者差別解消法

市長の公約でもある法律施行に併せた条例制定。実現に向け、当事者の意見集約や市民参加の手法など課題を整理し、自立支援協議会の協議を踏まえ検討していきたいとの答弁でしたので、取り組みに注目です。

坂井えつ子にとって、初めての本会議でした。

質問の方法にはルールがあるので、戸惑いましたが少し慣れてきました。時間制限を設けないため、活発な質疑が行われる中、新市長の政策や姿勢について、いわゆる野党議員から多くの質問がでました。ときにかみ合わない答弁や、調整のための休憩により、しばしば夜間議会に。日付をまたぎ、AM3時半に終了した日もありました。気力・体力を養っていく必要がありそうです。

気になる議案の採決結果

○...賛成 ×...反対 △...退席 議...議長 丸文字は人数
議長は可否同数のとき以外は採決に加わりません
すでに提出した意見書の撤回や引き戻し・改訂はできません

		緑・市民自治こがねい②	自民⑤	共産④	公明④	民主②	保守②	リベラル	ネット②	生活者	改革連合①	市民会議①	自由民主①	小金井
2016年度小金井市一般会計予算	否決	×	×	×	×	○	×	×	議	議	×	×	×	×
2016年度小金井市一般会計予算に対する修正案	否決	○	×	×	×	×	○	○	議	議	○	×	×	×
小金井市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例及び職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	×	○	○	○	○	×	△	議	議	×	×	×	×
都市計画道路「3.4.1号線」「3.4.11号線外」の計画の見直しを求める意見書 ※坂井作成	可決	○	×	○	○	○	○	○	議	議	○	×	×	×

野川とはけを壊す都市 計画道路。市議会では、陳 情3件・意見書を可決。パ ブコメの声も届かず、都 は優先整備路線に選定。

昨年12月18日に計画案が公表されて以来、日曜議会や一般質問、建設環境委員会に予算特別委員会と議会でも多くの質問が出ました。市民の声が大きかったことも背中を押したのでしょう。市長は、3月22日に「市長の見解」を伝えるに都庁へ行きまし。3月末の方針公表前に動かれたことは評価すべきですが、いま一步踏み込み、計画の変更・見直しを伝えていただきたかったと考えます。

本会議では23日に「計画の見直しを求める意見書」を、28日には4500筆の署名が集まった「計画の見直し・変更を求める陳情書」など3本の陳情を可決しました。

方針公表前に議会や市民の意志を表明できたことは大きな意味があったと考えますが、残念ながら、2路線とも今後10年以内に着手する優先整備路線に選定されてしまいました。野川に足を浸し微笑んでいた選挙ポスターが記憶に新しい西岡市長、条例を制定するなどして野川やはけを市民とともに守っていくことが小金井市の責務ではないでしょうか。

また、都に届けられたパブリックコメント4126件のうち、小金井の2路線に関するものは2111件。うち、反対が2041件にも関わらず、優先整備から外れない現状は、パブコメが形骸化していると言えます。パブコメの取り扱いについて、東京都に問い合わせていきましょう。

坂井えつ子の一般質問 (3月4日)

投票率UP & 声の選挙公報を

投票率UPについて、武蔵小金井駅南口にあるイベントポールへの懸垂幕掲出を提案。7月の参院選から活用したいと前向き。

音声の選挙公報は、来年の市議選に向け、他市の状況を調査しながら実現に向け努力したいとの答弁。ぜひ実現を！

都市計画道路の見直しを

市として計画の見直し・変更を都に伝えるよう求めるも、「都の決定に対し、市は判断する立場にない」との答弁。このような認識は地方自治を手放していると言えるのではないのでしょうか。野川を「小金井の宝」という市長の強い意思表示を求めました。

より見やすいHPのために

1月22日にリニューアルされ、見やすくなった小金井市ホームページ。多言語対応の充実や、「やさしい日本語」の活用、イベントカレンダーへの審議会等の予定掲載を提案。閲覧する方にわかりやすく利便性の高いHPづくりを進めていきたいとの答弁でした。

市議会議員のフシギ > 報酬の二重取り?!

いくつかの審議会には市議が所属し、会議参加の際は委員報酬が支払われています。市長の諮問機関でもある審議会に議員が入る必要性や報酬について議論がされており、市議の委員参加を減らしてきた経緯があります。議員ではなく市民公募委員を増やすべきですし、報酬を受け取っている議員が、議員として出席する場に更なる報酬は不要と考え、受取りを拒否しました。拒否した報酬は、市が法務局に「供託」し保管されます。議員でなくなった際に引き出し、イチ市民として市外NPO団体等に寄付するつもりです。



坂井えつ子【プロフィール】

● 1980年生まれ。桜町在住。緑小、緑中、小金井北高卒業。● 2015年12月市議補選で当選。厚生文教委員、行財政改革調査特別委員、広報協議会委員●国民健康保険運営協議会委員、都市計画審議会委員●市民自治こがねい、全国フェミニスト議員連盟、緑の党、市民自治をめざす三多摩議員ネットワークなどに参加。

市政オープンミーティング

市政に対して語り合う時間を設けました。片山かおるさんと坂井も参加します。お気軽にどうぞ。

5/15(日)10~12時(3月議会について)
6/10(金)19~21時(6月議会について)
場所：カエルハウス(中町4-17-11-1F)
主催：緑・市民自治こがねい

会計報告 2015年12月~2016年3月

収入	議員報酬	1,848,596
	税・国民年金・健康保険	180,068
	市民自治こがねい	90,000
支出	坂井えつ子とつながる小金井の会	210,000
	借入金返済	240,000
	活動費・生活費	1,128,528
	支出合計	1,848,596